

第11回 福岡県南 実践フットケア研究会

【日時】平成27年8月20日(木) 19:00～21:00

【場所】聖マリア学院大学 6号館 5階 (地図参照)

本研究会は具体的には以下の目標の達成に努め、その治療コンセプトと実技の習得を目指します。

- ①発症してしまった下肢慢性創傷の早期治療と各診療科・施設の連携
- ②予防的フットケア技術の普及

そのために今後、講義を中心とした「本研究会」と実技・実習を中心とした「実技研修会」を開催してまいります。

[活動内容]

- ①下肢慢性創傷治療に関しては講義のみならず実際の症例のカンファレンスを通して治療技術の向上に努める。
- ②予防的フットケアに関しては実習を通してフットケア、下肢潰瘍治療の技術を習得する。
- ③各地域において予防的フットケア、下肢慢性創傷の治療のネットワークを構築する。

18:50 製品紹介 共催会社

「地域の今の課題を検討し学び合う」

★参加する方は必ず、4ページ目のアンケートに記載いただき、申し込みと一緒にFAXして下さい。

19:00 【開会挨拶】:聖マリア病院 糖尿病センター長 布井清秀 先生

19:05--19:15 「事前アンケートの状況報告」

(いただいたアンケートをまとめ、課題を抽出し、当日提示致します)

19:15—20:45 (全体検討)

「課題に対する検討とその対応、実技」

【座長】社会医療法人天神会新古賀クリニック

糖尿病センター 兼 創傷外来師長 石橋 理津子 先生

課題①

課題②

課題③

⋮

⋮

20:45-20:55 足病変の治療・予防連携ネットワーク Home Page ご案内(事務局)

20:55【閉会挨拶】: 久留米大学病院 顎顔面・形成外科 教授 清川兼輔先生

【共催】福岡県南実践フットケア研究会、 NPO法人「よりよい地域医療を応援する会」
株式会社アステム、アルケア株式会社、ケーシーアイ株式会社、株式会社カネカメディックス
【事務局】NPO法人 よりよい地域医療を応援する会(お問合せ:TEL: TEL:090-5929-1247 権藤)

・事前申込の必要があります。別紙申込書に記載の上FAXください。

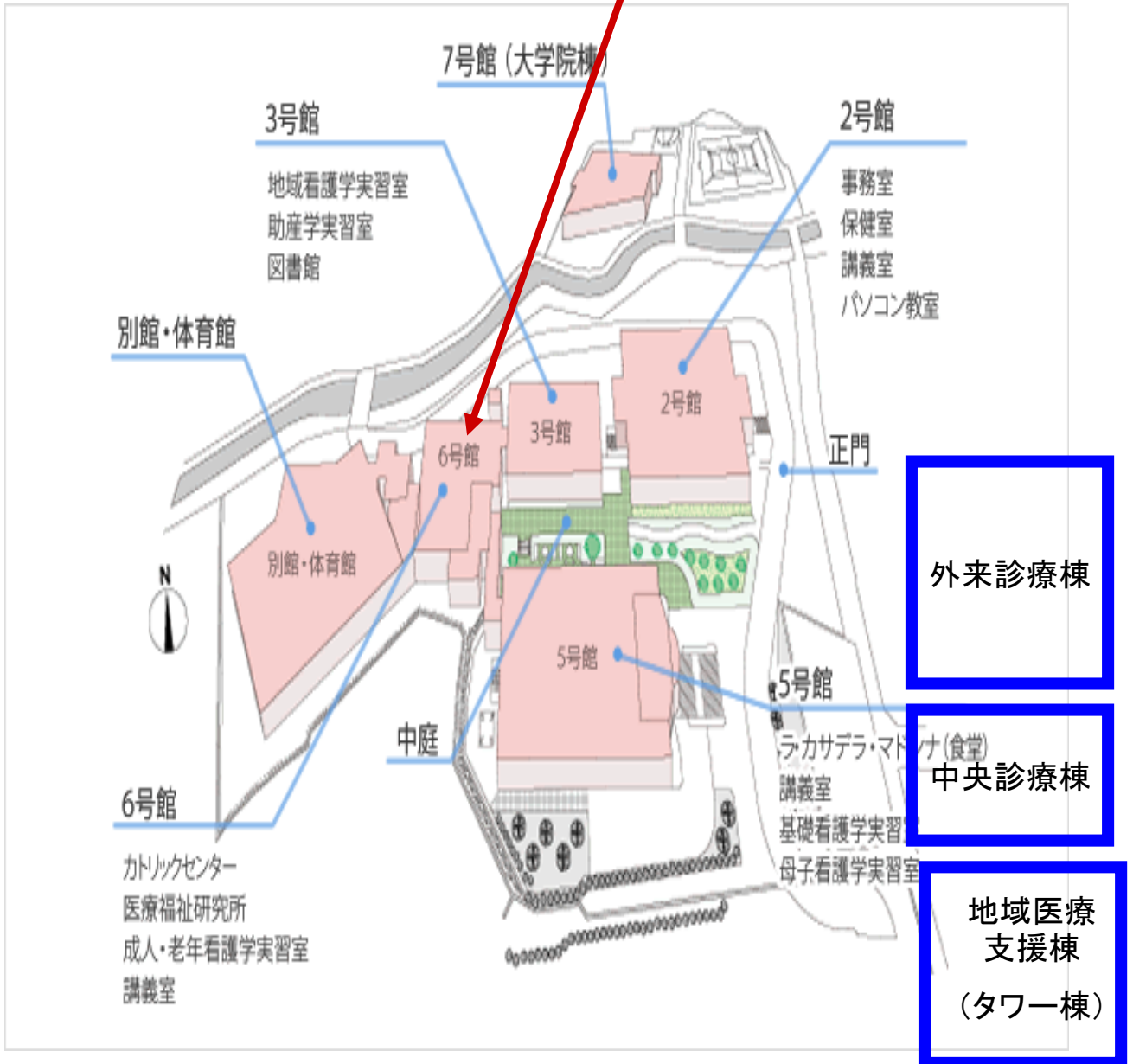
・当日は参加費として一人500円を申し受けますのでご了承くださいませ。

・当日はご参加の確認のため、施設名、氏名 の記入をお願いいたします。ご提供頂きました個人情報は、講演会のご出席の確認とご連絡のために使用致します。個人情報は共催関係者を除く第三者に開示、提供することはありません。

会場 案内地図

聖マリア学院大学

6号館 5階



送信先: NPO法人「よりよい地域医療を応援する会」
FAX to 0942-32-7498 受付先: (株)アステム筑後営業部 担当: 権藤

「第11回 福岡県南 実践フットケア研究会」
参加予約申込書

(次ページのアンケートと一緒にFAXして下さい)

- 参加ご希望の方は申込書にご記入の上、上記番号までファックスをお願いします。
- 過去ご参加いただいた方でも、必ずその都度お申込みをお願いいたします。

FAX締切り: 8/13(木)まで

※必ず連絡が受け取れるEメールアドレスを記載ください。

病院名 :

ご住所 : 〒

【 医師・看護師・その他() 】(○をつけてください)

ご所属 : 役職 :

ご氏名 :

連絡先 : TEL _____ FAX _____.

連絡Eメールアドレス : _____@_____.

【 医師・看護師・その他() 】(○をつけてください)

ご所属 : 役職 :

ご氏名 :

連絡先 : TEL _____ FAX _____.

連絡Eメールアドレス : _____@_____.

当日聞きたい事アンケート

普段悩んでいることや課題について箇条書きにてお書き下さい。

当日取りまとめて会場で検討します。

前ページの申込書と一緒にFAXして下さい。

■施設名:

所属:

氏名:

【1】院内体制について

- ①本年度からフットケア外来を新設し、システム構築をしている段階。もっと院内、院外にアピールして受診を増やすためにはどのようなアピールをすればよいか？
- ①スタッフが足に興味を持つようにするにはどうすれば良いか？
- ②患者を紹介するまでが遅い。新古賀病院に送ってくれない。
- ④フットケア委員会 年1～2回院内勉強会開催 年1回患者様向け壁新聞掲示 年1回ABI、フットチェック DM、ハイリスク患者年2回フットチェック
- ⑤フットケアを行う場所の確保ができない。外来の一部を利用することは可能だが(毎日不可)水場が無い。
- ⑤スタッフ不足で協力が得られない(他のスタッフの)。
- ⑥各病棟スタッフでのフットケアが出来ていない。今後各病棟でフットケアができるように勉強会、実技を行っていく予定。
- ⑥以前は入院患者のフットケア、指導を行っていたが今は出来ない(自分自身が)。糖尿病認定看護師が行ってくれている。

当日聞きたい事アンケート

普段悩んでいることや課題について箇条書きにてお書き下さい。

当日取りまとめて会場で検討します。

前ページの申込書と一緒にFAXして下さい。

■施設名:

所属:

氏名:

【2】連携について

- ①地域や紹介病院との連携をどのようにすればよいか。(例えば当院は月1回のフォロー。それ以外の透析病院や近医で処置をしていただく時の処置方法や注意点etcの継続ケアについて)
- ②血流の悪い患者の傷はすぐにでも新古賀クリニックに紹介したいが遠いため患者の理解を得られない。もっと近医の皮膚科とも連携を取りたい。田主丸病院のフットケア外来の状況を知りたい(一番近い)。
- ②他の病院のNS間で情報交換できたらもっと良くなると思う。NS専用のネットワークを作る。
- ②近医の皮膚科で傷を作ってくる患者がいます。ASOやHDをしている患者について知識があるのか疑問になります。連携ネットワークにこの皮膚科も入っていますがどういう基準で入れているのでしょうか？
- ④ABIの結果や自覚症状ある場合は専門医に紹介
- ⑤Dr間は市内の総合病院、久留米大学、新古賀病院と連絡を取り速やかに連携できているが、看護師(他病院との)との連絡ツールが無い。
- ⑥糖尿病患者さんが入居してある施設への訪問が1施設にしか出来ていないのが現状。今後の課題でもある。

当日聞きたい事アンケート

普段悩んでいることや課題について箇条書きにてお書き下さい。

当日取りまとめて会場で検討します。

前ページの申込書と一緒にFAXして下さい。

■施設名:

所属:

氏名:

【3】治療手技やフットケア手技について

- ① 実際の手技について習得するための演習方法はないか？
(例えば胼胝をみたてて、このような材料で演習すればよいetc)
- ② ASOのある下肢の創処置の知識が無いため、治療を始めるのが遅くなる。フットケアの手技は一人ひとり独断で行っているため、正しい知識を身に付ける必要がある。踵の角質をどこまで削れば良いのか、削り続けなければならないのか・・・悩む。
- ③ 軟膏の選び方
- ③ フットケア手技について参考になる書籍があれば知りたいです
- ④ 手技を統一するために話し合いで決め、マニュアル可できるものは作成
- ④ フットケアは入院中の方はできるが、外来HD患者にはできないのが現状(時間的・人員不足)
- ⑤ 簡単な爪切り、角質ケアについては行われているが、不安感は否めない。研修での学習のみであり、技術不足である。
- ⑥ 当院では予防的フットケアがメインのため、治療に関わるものが少ない(透析室では)。

当日聞きたい事アンケート

普段悩んでいることや課題について箇条書きにてお書き下さい。

当日取りまとめて会場で検討します。

前ページの申込書と一緒にFAXして下さい。

■施設名:

所属:

氏名:

【4】足の治療・ケアの知識について

- ①知識を得るための研修会などあればその情報を知りたい。
- ②不良肉芽、良性肉芽を見分けるコツを知りたい。
- ③胼胝、巻き爪、白癬などに関する治療についても知りたい。
- ④専門医へ紹介し、その後ケアを継続する。状況が変われば受診してもらう。ケアの情報は研究会や学会に参加し、情報収集しているが実践するにはまだ経験不足。
- ⑤合併症予防のフットケア研修は2名が参加し終了している。研修での学習のみであり、技術不足である。
- ⑥学ぶ機会が減ったので実践フットケア研究会でもう一度同じ講義をしてほしい。

当日聞きたい事アンケート

普段悩んでいることや課題について箇条書きにてお書き下さい。

当日取りまとめて会場で検討します。

前ページの申込書と一緒にFAXして下さい。

■施設名:

所属:

氏名:

【5】除圧、履物、装具などについて

- ①義肢装具士との連携はできているが、任せっぱなしにしている
- ②角質化や胼胝については装具が必要だと思うが、値段が高く患者に薦めにくい。また、歩き方の指導も専門知識がないので難しい。装具調整に通うのも久留米は遠いので大変である。
- ③リハビリの安静度や強度についての判断の仕方。
- ④専門的知識に乏しく、アドバイスできないため、専門医へ紹介。
- ⑤装具や靴の作製が必要な際は市内のフットケア外来に紹介している。
- ⑥最近関わるものが少なくなってきている。もう一度学びなおしたい。難しいという意見が多い。
- ⑦巻き爪がひどい患者さん(両下肢で複数の足趾に)にはどのような履物を薦めたらよいか。

当日聞きたい事アンケート

普段悩んでいることや課題について箇条書きにてお書き下さい。

当日取りまとめて会場で検討します。

前ページの申込書と一緒にFAXして下さい。

■施設名:

所属:

氏名:

【6】予防、再発予防について

- ①他の病院が予防の段階からどのように介入しているか、どのようなシステムでキャッチしているかを知りたい。
- ②患者の協力を得られない。生活保護や性格など患者の背景が違いため指導も難しい。
- ④足に興味を持ってもらうため、年1回壁新聞を作成。
- ⑤糖尿病教室や対象者に対しパンフレット等で説明を行っている

【7】機器、器材、材料について

- ①予算が限られているので機器・器材の購入が難しい。
- ①最低限必要な器材は何かを知りたい。
- ④専門医の使用物に準じて揃える。常に揃っているわけではない。(使用頻度が少ないため)
- ⑤ABI、SPPは有り、下肢PTAも行われている。ケアの道具も揃ってはいる。
- ⑧物理療法について

【8】その他課題

- ④専門医へ紹介したいが、受診方法が(高齢、一人暮らし、介助が必要、付き添い等)ない。
- ⑤病棟との兼務であり、ケアが十分に行えない現状である。
- ⑧フットケアとリハビリの関わりについて